

1年目中間評価 研究概要

1. 研究名：

ワンウェイ型カーシェアリングシステムの導入可能性 と道路空間の新たな利活用方策

2. 研究実施体制

| 研究者氏名 | 分担研究内容（朱書きは外注予定） |
|--------------|---------------------------------|
| ○溝上章志 | 研究統括・実施，シェアリングシステム運用シミュレーション分析 |
| 円山琢也 | 予約管理・運行軌跡トラッキングシステム，蓄積行動のデータ分析 |
| 藤見俊夫 | シェアリングシステム導入による社会経済効果の計測 |
| 橋本淳也 | シェアリングシステム運用シミュレーション分析 |
| 森 俊勝 坂元一雄 | 都市圏交通流動のマクロ分析，ミクロ交通流シミュレーションモデル |
| 須永大介 | シェアリングシステムの最新動向調査，社会実装実験の調査・準備 |

3. 研究の主目的

- ・ 大規模社会実験の実施とその成果のフィードバック
- ・ 再配車を行わないワンウェイ型カーシェアリングシステムの我が国への導入可能性とその効果
- ・ ステーション型の場合の最適デポ配置，フリーフロート型とした場合の道路空間の新たな利活用方策

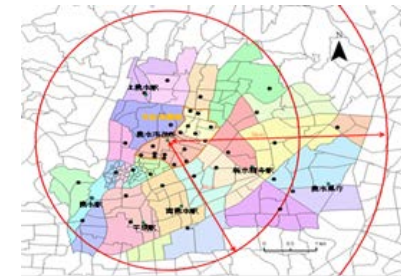
4. 1年目の研究計画

- 海外のカーシェアリングサービスの動向調査
- カーシェアリングサービスを組み込んだメソ交通流シミュレーションモデルの開発
- ワンウェイ型カーシェアリングのマクロ運用シミュレーション分析
- 社会実験のための調整・準備

5. 1年目の研究成果

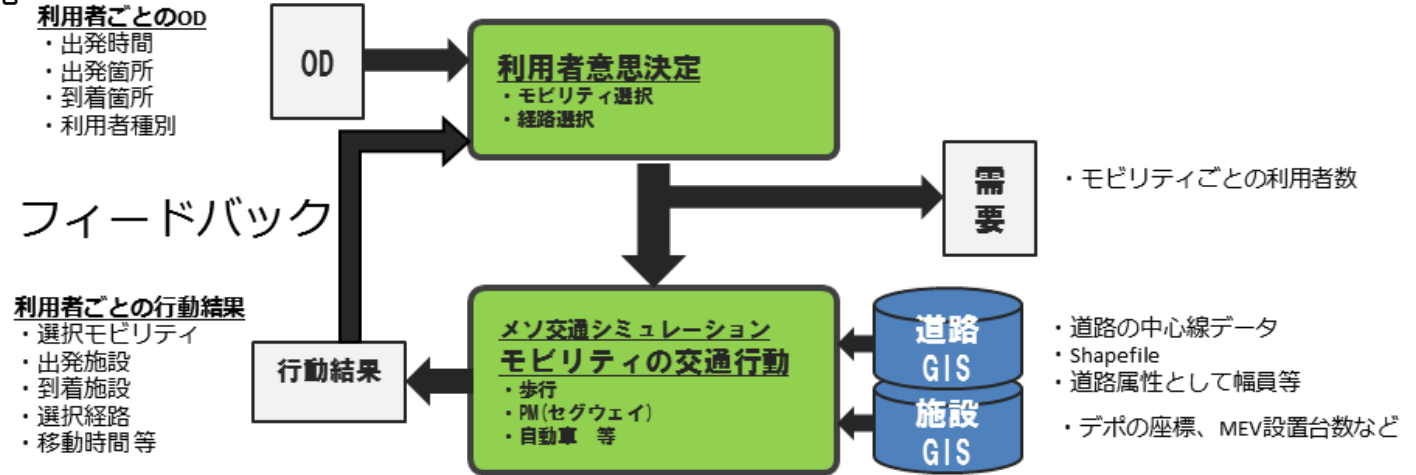
(1) MEVシェアリングシステムの運用シミュレーション分析

| | ステーション | デポ数 | 配車台数 | 総配車台数 | 料金 (円/分) | 予約リード タイム |
|---------|--------|-----|------|-------|-------------|--------------|
| SB-OWCS | 42 | 5 | 3 | 126 | 20 | 30分前 |
| FF-OWCS | 262 | - | - | | | |

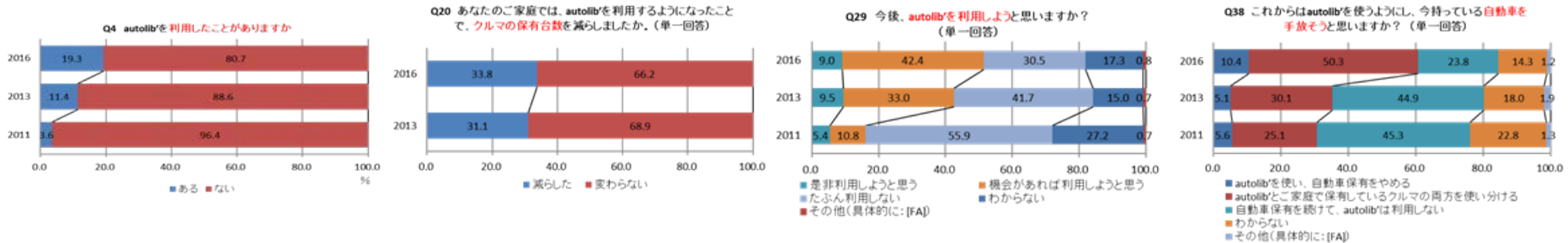


| | SB-OWCS | FF-OWCS | 最適ステーション配置計画 | |
|------------------|-----------------|------------------------|------------------|------------------|
| | | | 線形化解 | 満足解 |
| 予約受付トリップ数 | 1,842 (1.2%) | 3,308 (2.2%) | 1,434 (0.94%) | 1,297 (0.86%) |
| 予約受付率 | 0.56 | 0.32 | 0.62 | 0.63 |
| 車両不在による予約不可トリップ数 | 952 | 5,690 | 625 | 568 |
| 駐車不可による予約不可トリップ数 | 473 | 1,343 | 237 | 196 |
| 稼働率 | 0.99 | 1.00 | 1.00 | 1.0 |
| 実車率 | 0.16 | 0.30 | 0.17 | 0.20 |
| 利用時間(分) | 28,568 | 54,224 | 18,349 | 16,949 |

(2) MEVシェアリングシステムを組み込んだメソ交通流シミュレーションモデルの開発



(3) 海外におけるシェアリングシステムの最新動向調査



(4) 社会実験のための調整・準備

- 1) 5/6 (金) 15:30~@名古屋大学
名古屋大学とのシェアリング・ニューモビリティサービス研究会
- 2) 7/14 (木) 13:15~@TMN北九州事業所
まち住まい・交通の創蓄省エネルギー化モデル構築支援事業との打ち合わせ
- 3) 7/18 (月) 15:00~@熊大まちなか工房
第1回本田技研・熊本県・熊大MEVシェアリングシステム勉強会
- 4) 7/29 (金) 13:00~@トヨタ自動車本社
トヨタ自動車・豊田都市交通研究所とのシェアリング事業打ち合わせ
- 5) 8/4 (木) 15:00~@IBS
市丸新平氏 (交通・環境問題研究家) との打ち合わせ
- 6) 9/12 (月) 10:30~12:00@国交省道路局
国交省道路局環境安全課道路交通安全対策室とのシェアリングサービスの我が国への導入可能性, および道路空間の利活用方策についての議論

6. 1年目の進捗状況と評価

- 1年目研究計画は完遂
- 成果も充実
- 新たな発見・知見
- 今後の研究課題も発見